

各 位

2026 年 8 月 5 日

会 社 名  日本タングステン株式会社
 代表者名 取締役社長 中原 賢治
 (コード番号 6998 東証スタンダード市場、福証)
 問合せ先 取締役常務執行役員 原 口 寿
 経営管理本部長
 (TEL 092-415-5500)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2026年5月14日に公表いたしました2027年3月期第2四半期業績予想および配当予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

① 2027年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	7,300	380	510	340	70.00
今回修正予想（B）	8,600	1,500	1,720	1,230	253.23
増減額（B－A）	1,300	1,120	1,210	890	
増減率（％）	17.8	294.7	237.3	261.8	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2026年3月期第2四半期）	6,050	297	440	304	62.69

② 2027年3月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（2026年4月1日～2026年9月30日）

	売上高	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	6,600	600	460	94.71
今回修正予想（B）	7,700	1,780	1,360	280.00
増減額（B－A）	1,100	1,180	900	
増減率（％）	16.7	196.7	195.7	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2026年3月期第2四半期）	5,565	441	335	69.07

2. 修正の理由

当第1四半期連結累計期間の業績は、中国の輸出規制の強化に端を発するタングステン等の原材料価格の急騰に対し、収益性の確保の観点から商品価格の改定を顧客の皆様をお願いしている状況にありますが、当社グループがターゲットとする市場が好調に推移したことに加え、原材料の流通が制限

される中で中国以外の原材料調達に最大限努め需要に対応したこと等により、売上高が増加しました。また、利益面では売上高の増加に加え、原材料の調達コスト（移動平均）が標準原価を下回って推移したことで、売上原価が当初見込みよりも抑えられたこと等により、採算性が想定以上に改善しました。

これらの要因および直近の受注状況を踏まえ、第2四半期の利益水準は従来公表値を上回って推移する見通しとなったことから、2027年3月期第2四半期累計期間の連結および個別業績予想を修正するものです。

なお、通期の業績予想につきましては、中国の輸出規制強化の継続に伴う原材料価格の動向等が見通しにくく、収益性の度合いが見定めにくい状況であることから、現時点では2026年5月14日に公表した通期業績予想値を据え置くこととし、原材料価格の今後の動向等を注視しながら合理的な業績予測が可能となり次第、速やかにお知らせいたします。

3. 配当予想の修正について

	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2026年5月14日)	30円00銭	30円00銭	60円00銭
今回修正予想	60円00銭	30円00銭	90円00銭
前期実績 (2026年3月期)	25円00銭	25円00銭	50円00銭

修正の理由

当社は株主の皆様への利益還元について、新製品開発を推進するための設備・人財・研究などへの戦略的投資、中長期的な企業財務体質の強化等を総合的に勘案しつつ、原則として、年間の1株あたり配当額60円を下限として、親会社株主に帰属する当期純利益の40%を目安とした安定的・継続的な配当を実施するよう努めます。

また、1株当たりの株主価値を向上させるとともに、資本効率の向上を図るため、適宜自己株式の取得に努めます。なお、著しい経営環境の変化などの特殊要因により、親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する場合は、配当金の見直しを検討するものとします。

上記方針のもと、配当予想につきましては、今回の業績予想の修正により、親会社株主に帰属する中間純利益の増額が見込まれることから、上記のとおり修正いたします。なお、期末配当予想につきましては、現時点では据え置きとさせていただきます。

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上